

2027年の第11回太平洋・島サミットの横浜開催が決定しました

～太平洋島嶼国の首脳級が横浜に集結～

本日（6月17日）、木原内閣官房長官から「次回の第11回太平洋・島サミット（PALM11）を、来年夏頃に神奈川県横浜市で開催することとしました。」と、発表がありました。

太平洋・島サミット（PALM: Pacific Islands Leaders Meeting）は、日本が、ミクロネシア、メラネシア、ポリネシアの国々からなる太平洋島嶼国・地域との関係を強化する目的で、1997年より3年ごとに日本で開催している国際会議です。

これまで、本市は、APEC 首脳会合（2010年）や過去4回のアフリカ開発会議（2008年、2013年、2019年、2025年）といった、多くの首脳級国際会議において、ホストシティとして会議の成功に貢献してきました。太平洋・島サミットが横浜で開催されるのは今回が初めてとなります。

太平洋・島サミットでは、島嶼国・地域の首脳が集まり気候変動をはじめ様々な課題について議論が行われてきました。本市はこの機会を捉え、2027年開催の「横浜グリーンエクスポ」、また、循環型都市への移行やグローバル人材の育成など本市政策との相乗効果につなげていきます。

1 会議概要

- (1) 会議名：第11回太平洋・島サミット（PALM11）
- (2) 開催時期：2027年（令和9年）夏頃
- (3) 開催地：横浜市
- (4) 主催：外務省

2 山中 竹春 横浜市長のコメント

このたび、横浜市が「太平洋・島サミット」の開催地に選ばれたことは、大変光栄です。国との緊密な連携のもと、万全の準備を進めるとともに、太平洋島嶼地域の安定と繁栄、さらには持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

横浜市はこれまでも、アジア太平洋地域の都市と連携し、循環型都市への転換を積極的に進めてきており、その取組を世界に発信する重要な機会であると受け止めております。

2027年に開催される「横浜グリーンエクスポ」や「第9回アジア太平洋都市フォーラム（APUF—9）」との相乗効果により、横浜の強みを最大限に生かしながら、循環型社会の未来に向けた具体的な取組を力強く発信してまいります。あわせて、若い世代をはじめ市民の皆さまが国際社会をより身近に感じ、その理解を深める機会となるよう取り組んでまいります。

裏面あり



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



【太平洋・島サミットについて】

外務省の主催する首脳会議であり、1997年より3年ごとに、日本国内で実施されている。PALM10の参加国・地域は太平洋島嶼国18か国・地域+日本であり、資源、気候変動、開発、海洋、平和、安全保障など、多様なテーマについて議論を行った。

※ 日本を含め19か国・地域の首脳等が参加（日本、オーストラリア、クック諸島、ミクロネシア、フィジー、仏領ポリネシア、キリバス、ナウル、ニューカレドニア、ニュージーランド、ニウエ、パラオ、パプアニューギニア、マーシャル諸島、サモア、ソロモン諸島、トンガ、ツバル、バヌアツ）

お問い合わせ先
グローバル都市戦略課担当課長 谷澤 Tel 045-671-4889



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

